

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	広域行政事務事業		
部局名	企画部	課(室)名	企画広報課

【基本情報】

基本目標	06 まちづくりの進め方	会計	01 一般会計
政策	01 まちづくりの進め方	款	02 総務費
施策	03 広域的な都市間連携によるまちづくり	項	01 総務管理費
期間	～ 永年	目	07 企画費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010 政策調整事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	東播臨海広域行政協議会規約、東播磨流域文化協議会会則、播磨地方拠点都市推進協議会規約		

【現状と課題】

現状と課題	交通網の整備や情報化の進展などにより、市民の生活圏が広がるなかで、広域的な視点から取り組むべき課題が医療、福祉、廃棄物処理、防災、観光など、ますます増えている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
加古川市	各種広域行政協議会に参画する。				隣接市町との連携・協力を強化し、医療・救急など一つの自治体だけでは解決が困難な行政課題に対応する。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市	団体		1	1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
各種広域協議会数	件		4	4		
活動指標分析結果	播磨広域連携協議会が平成24年5月に発足して以降、新たな協議会は発足されていないが、広域連携の充実にに向けた取り組みが行われている。					
事業費	千円	5,314	4,409	4,422		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
東播臨海広域行政協議会の事業数	件			7	7	平成27年度
			7	7		
成果指標分析結果	平成24年5月に発足した播磨広域連携協議会において、新たに播磨国風土記の編纂や災害時等における日本郵便近畿支社との連携協定などの事業が実施された。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れる余地がある
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
一つの自治体だけでは解決が困難な行政課題に対応するためや、地域の情報発信においては、近隣市町との連携が重要であるため、協議会の設置は必要であり、広域連携の推進につなげていきたい。	

※事業費と財源内訳

決算額	4,422	内訳	国費	県費	市債	他	一般	4,422
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------